

MUSEUM × THEATER vol.21

「朗読の夕べ 森鷗外のクリスマス」の開催について

公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）では、MUSEUM × THEATER vol.21「朗読の夕べ 森鷗外のクリスマス」を開催します。

ミュージアムは全国でも珍しい劇場と美術館の複合施設である「グラントワ」の特性を生かすべく、劇場と美術館が共同で企画を実施することにより企画制作・技術力向上につなげるとともに、様々な実演芸術やアートへの理解を深めてもらう機会として行う事業です。今回は、石見出身の文豪・森鷗外の作品朗読を、文化的な背景についての解説とともに味わう催しです。好評につき第2弾の開催となります。

つきましては、ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしくお願ひいたします。

記

MUSEUM × THEATER vol.21

「朗読の夕べ 森鷗外のクリスマス」

◆12月23日（土）

開場 14:30 / 開演 15:00

会場／グラントワ 大ホールステージ上

<出演>

■佐々木 望（ささき のぞむ） 声優



『幽☆遊☆白書』幽助、『AKIRA』鉄雄、『銀河英雄伝説』ユリアンなど多くの作品で主要キャラクターの声を担当。独特の存在感がある声で幅広い役柄を演じ分ける。英検一級、全国通訳案内士資格を有し、英語での吹替も行う。『きのう何食べた？』（よしながふみ原作）、『旅のラゴス』（筒井康隆原作）などの朗読公演で企画・演出・主演を務める。『マチネの終わりに』（平野啓一郎著）、『カササギ殺人事件』（A. ホロヴィッツ著）などオーディオブックの朗読でも好評価。近著に『声優、東大に行く 仕事をしながら独学で合格した2年間の勉強術』（KADOKAWA、2023）。<https://nozomusasaki.com>

■美留町 義雄（びるまち よしお） 大東文化大学 教授

1967年、東京都に生まれる。立教大学文学部ドイツ文学科を卒業し、同大学院文学研究科博士課程（ドイツ文学専攻）を満期退学後、日本学術振興会特別研究員（PD）を経て現職。森鷗外記念会常任理事。専門は日独比較文学・文化研究。著書に『鷗外のベルリン —交通・衛生・メディア』（水声社、2010）および『軍服を脱いだ鷗外 —青年森林太郎のミュンヘン』（大修館書店、2018）がある。

<その他～取材について>

- ・取材の際には腕章をお願いいたします。
- ・カメラ撮影はノーフラッシュをお願いいたします。
- ・取材をご希望の方は、事前にご連絡いただきますようお願いいたします。